

「京都文教大学海外学術研究助成金」による海外出張報告書

2016年(平成28年) 12月 2日提出

申請年度	2016年度 (平成28年度)		
所属学科	臨床心理学科	報告者 職・氏名	准教授 平尾 和之
海外出張 内容 (種別に)	目的 17 <sup>th</sup> International Neuropsychanalysis Congress への参加		(種別に) ・学会・会議 ・調査・研修/セミナー
	訪問国・地域: アメリカ(シカゴ)		助成額 100,000円
期 間	2016年7月5日(火) ~ 2016年7月11日(月)		6泊 7日 うち機中泊(1泊)
研究・調査・発表等概要	<p>世界各国の心理療法家と脳科学者が集まる学際的雰囲気を感じながら参加した。</p> <p>今年のメインテーマは「Other Minds (他者の心)」であり、心理療法における重要なテーマである「共感性」、基礎的な研究を臨床的な研究に結びつける「動物(とくに哺乳類)の心」、そして現代・未来的なテーマである「AI(人工知能)の心」を中心に、最新の脳科学と心理療法の知見に基づいて発表と議論が交わされた。</p> <p>日本からの発信として、今年度は Akimoto らによる箱庭製作中に NIRS を用いて脳活動を計測する研究(筆者は研究協力者)、Kubota らによる自閉スペクトラム症を対象にしたサブリミナルな表情認知研究が発表され、各国からの研究者とのやりとりが行われた。</p>		
研究・調査・発表等成果概要	<p>心理療法と脳科学のコラボレーションについての発表から、この学際領域における最新の知見を得た。</p> <p>各国の心理療法家や脳科学者との議論、交流の中から、新たなアイデア・コラボレーションの可能性が生まれてきた。</p> <p>今回の経験を、臨床実践レベルでの臨床心理学(臨床心理士)と精神医学(精神科医)の実りあるコラボレーションに結びつけていきたい。</p>		
出張期間中の研究調査活動経過	7月 5日 ・自宅(京都) 伊丹空港(大阪)発		
	7月 5日 ・シカゴ着		
	7月 7日 ~ 9日 ・17 <sup>th</sup> International Neuropsychanalysis Congress への参加		
	7月 10日 ・シカゴ発		
	7月 11日 ・伊丹空港(大阪) 自宅(京都)着		

<p>本出張によって得られた研究成果を発表する予定の下記 ~ のものがあれば該当するものを記入してください。</p> <p>雑誌論文(著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)                  図書(著者名、出版者、書名、発行年、総ページ数)                  シンポジウム・公開講演会等の開催(会名、開催日、開催場所)                  その他(学会発表、研究報告書の印刷等)                  授業時の活用</p>	<p>研究成果を論文化し、学術雑誌に投稿予定である。</p>
	<p>今回の学会参加を踏まえ、心身臨床学研究会(9月25日、京都)、日本心理臨床学会・自主シンポジウム「ニューロサイコアナリシスへの招待」(9月4日、横浜)で発表を行った。</p>
	<p>今回の学会参加を踏まえ、国際分析心理学会(8月30日、京都)で発表を行った。</p>
	<p>本出張で得られた知見を、精神医学やゼミの授業で、大いに活用している。</p>
<p>添付書類(必須)</p> <p><u>発表の方</u>                  プログラム、抄録、原稿、PPT スライド等の写し等                  記録写真</p> <p><u>調査の方</u>                  収集資料写、調査状況関連の資料等写                  記録写真</p> <p><u>セミナー参加者</u>                  配布資料写                  講義記録写                  記録写真</p>	<p>該当するものを以下に記載したうえ、添付資料としてご提出願います。</p>
	<p>プログラム</p>
	<p>記録写真</p>
<p>意見等</p>	

欄は記入の必要はありません。

写真ファイル貼付頁

2016年(平成28年)12月 2日提出

<p>現地の写真</p>	<p>学会/会議：会場風景 調査：調査地の様子 セミナー：会場の様子</p>		
	<p>会場の様子</p>	<p>聴講時の様子</p>	
<p>活動状況の写真</p>	<p>学会/会議：発表時(聴講時)の様子 調査：調査実施時の様子 セミナー：聴講時の様子</p>		
	<p>発表時の様子(秋本先生)</p>	<p>発表時の様子(久保田先生)</p>	
<p>協力者などの写真</p>	<p>学会/会議：運営担当研究者あるいは知己の研究者 調査：研究協力者 セミナー：主催者/講師</p>		
	<p>学会中心人物 Solms 先生と日本グループ</p>	<p>学会中心人物 Turnbull 先生と日本グループ</p>	
<p>その他関連写真(任意)</p>			